





12/21 美味しかった愛南の真鯛!

産地(養殖真鯛)の優位性を活かした「ぎょ・ショック!ツアー愛 南の真鯛フルコースin久良」(南宇和観光協会、JRワープ松山支店 が共催)が行われ、松山市などから17名が参加されました。

当日は、久良漁港で真鯛の捌き方や食べ方の説明を受けた 後、久良公民館で真鯛のしゃぶしゃぶ、刺身、鯛めしなど、鯛づ くしの食べ放題を満喫していました。初夏のかつおツアーにも参 加された井上昌彦さん(松山市)は「鯛も、とても美味しい。年明 けからのカキツアーも参加します。愛南の味の虜になりました」 と笑顔で話してくれました。





12/23 やったあ! ビンゴゲームで貰ったよ

一本松山村開発センターで、一本松 公民館一本松分館主催の「クリスマ ス会」があり、一本松地区の保育園児 や小学生、約50名が、中学生の歌や踊 り、ビンゴゲームなどで盛り上がって いました。

12/26 元気をありがとう!

県立南宇和病院で、南宇和高 校吹奏楽部が「ミニコンサート」 を行い、外来や入院患者の皆さん に音楽で「元気」をプレゼントしま した。このコンサートは、県立南 宇和病院の依頼を受けて実施(今 年で3回目)しているそうです。当 日は「部員の輝いた表情やエネル ギッシュな演奏を見ると、とても 癒される」と、多くの患者さんが 話されていました。





愛南漁協深浦本所で、初競りを祝 う「初市」の式典が行われました。

濵田伊佐夫組合長は「魚価の低 迷等、依然、厳しい状況が続いてい るが、組合員の皆様とともに、この 苦境を乗り越えていきたい」と、あ いさつがありました。その後、この 日、水揚げされた「かつお」など、仲 買人らが威勢良く競り落としていま した。











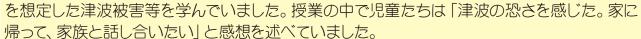
12/8 シーフードのことなら私に!

愛南漁協の梶田秀樹さんが、四国で初めてとなるシーフードの スペシャリスト「シーフードジュニアマイスター」に認定されました。シーフードジュニアマイスターは、魚のソムリエとも言われ、 魚食に関するあらゆる知識や知恵、技術を習得して、その価値 や魅力を伝えるという役割を担います。梶田さんは「ぎょしょく 教育や町内外のイベントを通じ、愛南の海の幸をアピールしてい きたい」と、今後の抱負を語られました。

12/10 津波は恐いよ!

船越小学校6年生の授業で、四国内に残る地震、津波等の自然災害に関する物語や言い伝えを基に編纂された「四国防災八十八話」を活用した紙芝居の読み聞かせがありました。

授業では、その編纂に携わった愛媛大学防災研究センターの鳥居謙一副センター長を講師に招き、船越湾





(12/13) **(12/13)** (12/13) (12

(12/13) サンタさん、ありがとう!

クリスマス飾り一色に包まれたDE・あ・い・21で「第15回パールイルミネーション」が行われ、参加した約400名にサンタクロースから一足早いクリスマスプレゼントが手渡されていました。また、冬空に輝くイルミネーション(12/13~1/10)の点灯式も行われ、道行くドライバーの目を楽しませていました。



12/19 元気で過ごしてください!

町城辺赤十字奉仕団(委員長、濵孝子さん)の皆さんが、城辺地域で緊急通報装置を設置した独居老人43名を訪れ、シクラメンの花鉢を贈りました。奉仕団の方も「独り暮らしをされている高齢者に、花鉢とともに元気を届けることができ、とても良かった。今後も、お年寄りが寂しい思いをしないよう、声かけ運動をしていきたい」と笑顔で話されていました。

(文 橋本百代広報編集委員)